

The 14th
Anti-Aging Medicine Update 2014

第14回

抗加齢医学の実際

エイジング臨床と基礎の最前線を学ぶ2日間

Date 2014年 9月14日(日)
16:00-20:00

2014年 9月15日(月・祝)
9:00-17:45

Venue 時事通信ホール

104-0061 東京都中央区銀座5丁目15-8
時事通信ビル
(最寄駅: 東銀座駅)

Speakers

- | | |
|-------------|---|
| 坪田 一男 | 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授 |
| 酒向 正春 | 世田谷記念病院 副院長・回復期リハビリテーション センター長
デンマーク国立オーフス大学脳神経病態生理学研究所 客員教授 |
| 里宇 明元 | 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授 |
| 國吉 康夫 | 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 教授 |
| 三浦 正幸 | 東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授 |
| 小松 雅明 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御分子生物学講座 教授 |
| 大谷 直子 | 東京理科大学理工学部応用生物科学科 教授 |
| Hongyi Kang | University Rochester Medical Center Laboratory Technician |
| 櫻井 武 | 金沢大学医薬保健研究域医学系分子神経科学・統合生理学講座 教授 |
| 羽鳥 恵 | 慶應義塾大学医学部眼科時間生物学教室 特任准教授 |
| 岩部 美紀 | 東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科統合的分子代謝疾患科学講座 特任助教 |
| 高橋 英彦 | 京都大学大学院医学研究科精神医学教室 准教授 |
| 溝口 徹 | 新宿溝口クリニック 院長 |
| 岡本 卓 | 愛し野内科クリニック 院長 |
| 福田 真嗣 | 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授 |
| 金井 隆典 | 慶應義塾大学医学部内科学(消化器) 教授 |
| 本田 賢也 | 理化学研究所統合生命医科学研究センター消化管恒常性研究チーム チームリーダー
(敬称略) |

主催: Medi★Produce

後援: 一般社団法人日本抗加齢医学会

認定単位
日本抗加齢医学会

5単位

(受験用・更新用)

1日目: 2単位
2日目: 3単位

2014

脳と運動器

アポトーシス・セネセンスと
オートファジーの最先端

最新! 肥満の
分子メカニズム

高タンパク摂取の
是非に迫る

腸内細菌

第14回 抗加齢医学の実際 2014

エイジング臨床と基礎の最前線を学ぶ2日間

Program & Schedule

1st day

● 9月14日(日)



16:00-16:45 Welcome Reception

17:00-17:05 開会の言葉

17:05-18:05 オープニングセッション

アンチエイジングアップデート

坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

セッション1
18:05-20:00

脳と運動器

18:05-18:35

脳の力を引き出すリハビリー脳卒中からの人間回復ー

酒向 正春 世田谷記念病院 副院長・回復期リハビリテーション センター長
デンマーク国立オーフス大学脳神経病態生理学研究所 客員教授

18:35-19:05

Brain Machine Interface (BMI) が拓く リハビリテーションの新たな可能性

里宇 明元 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授

19:05-19:35

身体が脳を作るメカニズム

國吉 康夫 東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 教授

19:35-20:00

Q&A ディスカッション

セッション3
10:55-12:10

最新! 肥満の分子メカニズム

10:55-11:20

睡眠・覚醒状態の制御機構

櫻井 武 金沢大学医薬保健研究域医学系分子神経科学・統合生理学講座 教授

11:20-11:45

食べるタイミングと時計遺伝子

羽鳥 恵 慶應義塾大学医学部眼科時間生物学教室 特任准教授

11:45-12:10

健康長寿を目指した新規糖尿病治療薬開発の試み

岩部 美紀 東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科統合的分子代謝疾患科学講座 特任助教

12:10-12:35 Break Time 企業紹介

12:35-13:15 ランチョンセミナー 13:15-13:35 アンチエイジング ディスカッション

特別講演
13:35-14:35

「他人の不幸は蜜の味」の 脳内過程 — ポジティブサイコロジー —

高橋 英彦 京都大学大学院医学研究科精神医学教室 准教授

セッション4
14:35-15:40

高タンパク摂取の是非に迫る

14:35-15:00 是の立場

高タンパク摂取賛成

溝口 徹 新宿溝口クリニック 院長

15:00-15:25 非の立場

危険な糖質制限: エビデンスレベルの高い地中海食

岡本 卓 愛し野内科クリニック 院長

15:25-15:40

ディスカッション

15:40-15:55 Break Time

セッション5
15:55-17:10

腸内細菌

15:55-16:20

統合オミクスによる腸内エコシステムの理解

福田 真嗣 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授

16:20-16:45

腸内細菌と疾患予防 ~ 便移植への臨床応用 ~

金井 隆典 慶應義塾大学医学部内科学(消化器) 教授

16:45-17:10

腸内細菌と免疫

本田 賢也 理化学研究所統合生命医科学研究センター
消化管恒常性研究チーム チームリーダー

17:10-17:40 Q&A

17:40-17:45 閉会の言葉

2nd day

● 9月15日(月・祝)

セッション2
9:00-10:40

アポトーシス・セネセンスと オートファジーの最先端!

9:00-9:25

細胞死による新たな恒常性維持機能

三浦 正幸 東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授

9:25-9:50

オートファジーの最先端

小松 雅明 新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御分子生物学講座 教授

9:50-10:15

細胞老化と炎症

大谷 直子 東京理科大学理工学部応用生物科学科 教授

10:15-10:40

睡眠が脳をきれいにする

Hongyi Kang University Rochester Medical Center Laboratory Technician

10:40-10:55 Break Time

● 16:00-16:45 Welcome Reception シャンパン・フィンガーフードならびに体験企画をご用意しております。ぜひご参加ください。

● 17:00-17:05 開会の言葉 坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

オープニングセッション

● 17:05-18:05 アンチエイジングアップデート

今年も坪田一男先生より、アンチエイジング医学におけるトレンドと最新の研究の流れについてサマライズします。今年1年のエイジング研究の最先端やアンチエイジングの新しい流れを60分の講演で解説します。昨年よりさらに進んだサーカディアンリズム研究、幸せ研究など様々なトピックを網羅し、2日間にわたるこのセミナーの意義についても楽しく紹介していただきます。

セッション1

● 18:05-20:00 脳と運動器

座長 坪田 一男

慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

アメリカでは、オバマ大統領がBrain Initiativeというプロジェクトを立ち上げました。その中でNIHの脳科学関連予算は総額5000億円以上も当てられており、脳研究のさらなる発展が期待されています。一方、我が国では高齢化社会の中で、運動器の障害を克服するために、司令塔である脳に働きかける様々な治療法が始まっています。また、脳が身体に信号を出すだけでなく、身体の動きが脳を刺激する、脳を作るということも解明されてきています。このセッションでは、運動器の機能回復と脳機能、そして身体から働きかける脳の動きについて討議します。



坪田 一男

慶應義塾大学医学部
眼科学教室 教授

プロフィール

1980年慶應義塾大学医学部卒業。米ハーバード大学にてフェローシップ修了。角膜移植、ドライアイ、屈折矯正手術の第一人者。再生角膜移植、近視・乱視・遠視・老眼などの最先端の治療に取り組む。近年は研究と診療に抗加齢医学＝アンチエイジング医学を導入。日本抗加齢医学会理事長、日本再生医療学会理事など。

<http://www.tsutota.ne.jp/>

著書

『アンチエイジング・バトル 最終決着』

(朝日新聞社)

『ごきげんな人は10年長生きできる』

(文藝春秋)



2 18:35-19:05

Brain Machine Interface (BMI) が拓くりハビリテーションの 新たな可能性

里宇 明元

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授



プロフィール

1979年慶應義塾大学医学部卒業。1984年6月米国ミネソタ大学医学部リハビリテーション科レジデント研修。1985年帰国後、国立療養所東埼玉病院理学療法科医長着任。1999年埼玉県総合リハビリテーションセンターリハビリテーション部長、2002年慶應義塾大学医学部助教授を経て、2004年慶應義塾大学医学部教授に就任。現在に至る。

日本リハビリテーション医学会理事長(2008-2012)。国家課題対応型研究開発推進事業—脳科学研究戦略推進プログラム—「BMI技術を用いた自立支援、精神・神経疾患等の克服に向けた研究開発」プロジェクト代表者、宇宙医学研究推進分科会座長、有人サポート委員会委員。

著書

『もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ』

(MB Medical Rehabilitation(メディカルリハビリテーション))



3 19:05-19:35

身体が脳を作るメカニズム

國吉 康夫

東京大学大学院情報理工学系研究科
知能機械情報学専攻 教授



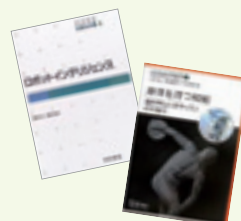
プロフィール

1991年東京大学大学院工学系研究科修了、工学博士、同年電子技術総合研究所研究員、1995年同主任研究員、1996年～97年米国マサチューセッツ工科大学人工知能研究所客員研究員、2001年東京大学助教授、2005年同教授。身体性に基づく認知の創発と発達、模倣の科学、ヒューマノイドロボットなどの研究に取り組んでいる。日本ロボット学会研究奨励賞、同論文賞、佐藤 記念知能ロボット研究奨励賞、IJCAI Outstanding Paper Award、ゴールドメダル「東京テクノ・フォーラム21賞」等受賞。

著書

『ロボットインテリジェンス』(岩波書店)

『身体を持つ知能』(シュプリンガー・ジャパン)



1 18:05-18:35

脳の力を引き出すリハビリ —脳卒中からの人間回復—



酒向 正春

世田谷記念病院 副院長・
回復期リハビリテーション センター長
デンマーク国立オーフス大学
脳神経病態生理学研究所 客員教授

プロフィール

愛媛大学医学部卒業、医学博士。1987年脳卒中治療を専門とする脳神経外科医となる。愛媛大学医学部脳神経外科講師を経て、2004年初期リハビリテーション病院脳卒中診療科科長となり、脳神経外科医から脳リハビリテーション医へ転向。東京都と連携して初台ヘルシーロードを実現。2012年世田谷記念病院副院長、回復期リハビリテーションセンター長に就任。世田谷区二子玉川地区に地域リハビリテーションとノーマライゼーションが充実した超高齢化社会に対応した都市整備、パラリンピックを見据えた都市環境整備を進行中。日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本障害者スポーツ認定医。2013年NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」第200回「希望のリハビリ、ともに闘い抜くリハビリ医・酒向正春」として特集。

著書

『あきらめない力』(主婦と生活社)



セッション2

9:00-10:40 アポトーシス・セネセンスとオートファジーの最先端!

座長 齋藤 英胤 慶應義塾大学薬学部薬物治療学 教授

身体は60兆個の細胞から構成されています。つまり、身体の健康のアンチエイジングには、細胞の健康を維持することが重要です。細胞内の環境を改善し、機能を維持するシステムとして、オートファジーやアポトーシスが大きな役割を果たしており、細胞内の様々な機能に作用していることが解明されてきています。このセッションでは、細胞内の制御機能についてその最先端をディスカッションします!

座長紹介



齋藤 英胤 慶應義塾大学薬学部薬物治療学 教授

プロフィール

1981年慶應義塾大学医学部卒業後、東京都立大久保病院 内科勤務を経て1988年に慶應義塾大学医学部内科助手を務める。その後同大学医学部内科学の専任講師を務めた後、トマスジェファーソン医科大学癌センター研究員となる。帰国後、2008年に慶應義塾大学医学部抗加齢消化器学准教授、2010年慶應義塾大学薬学部薬物治療学教授に就任、現在に至る。メタボリック症候群の予防や治療に精通し、エビジェネティックの変化を視野に入れた新たな治療法開発に取り組む。



著書

『やさしい臨床医学テキスト第3版』
(薬事日報社)
『成人看護』(医学書院)

1 9:00-9:25

細胞死による新たな恒常性維持機能

三浦 正幸

東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授



プロフィール

東京都立大学理学部生物学科卒業後、1988年に大阪大学理学研究科生物化学博士課程修了。慶應義塾大学医学部助手を務めた後、1992年にハーバード大学・マサチューセッツ総合病院へ留学。帰国後、筑波大学基礎医学系講師、大阪大学医学部助教授を経て、2001年に理化学研究所脳科学総合研究センター・チームリーダー。2003年より東京大学大学院薬学系研究科教授に就任。現在に至る。

日本分子生物学会理事など

<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~genetics/index.html>

著書

『細胞死研究 総集編実験医学 増刊』(羊土社)
『Cell death in development and regeneration』
Development Growth & Differentiation : Vol. 53 (2)



2 9:25-9:50

オートファジーの最先端

小松 雅明

新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御分子生物学講座 教授



プロフィール

1995年明治大学農学部卒業後、筑波大学大学院バイオシステム研究科修了。2001年に順天堂大学大学院医科学研究科修了後、東京都臨床医学総合研究部門常勤流動研究員を経て、2004年に順天堂大学医学部生化学第一講座助手、講師、准教授、2010年東京都医学総合研究所プロジェクトリーダーを経て、2014年新潟大学大学院医歯学総合研究科遺伝子制御分子生物学講座教授に就任。現在に至る。

3 9:50-10:15

細胞老化と炎症

大谷 直子

東京理科大学理工学部応用生物科学科 教授



プロフィール

1988年京都府立医科大学医学部医学科卒業。内科研修後、京都府立医科大学大学院医学研究科博士過程修了(医学博士)。同大学医学部医学科公衆衛生学教室助手、Cancer Research UK, Paterson Institute for Cancer Research 研究員等を経て、2003年徳島大学ゲノム機能研究センター蛋白情報分野講師に着任。同准教授、公益財団法人がん研究協会がん研究所がん生物部主任研究員を経て、2014年東京理科大学理工学部応用生物科学科教授に就任。現在に至る。細胞老化の生体内における役割について、インビボ・イメージングマウス等を用いて研究を行っている。

4 10:15-10:40

睡眠が脳をきれいにする

Hongyi Kang

University Rochester Medical Center
Laboratory Technician



Kang先生は、“Sleep Drives Metabolite Clearance from the Adult Brain”の論文を発表され、人が眠る理由を科学的に解明されました!

※『Sleep Drives Metabolite Clearance from the Adult Brain』

寝ると脳細胞と脳細胞のすき間が広がり、老廃物が排泄されやすくなる。睡眠後30分で細胞間スペースが60%も増える。寝る行為は動物として最も無防備な行為であるが、どうして動物が寝るようになったのか?そのメカニズムがはっきりと解明されていない中で、シンプルながら見事な研究結果である。

セッション3

10:55-12:10 最新! 肥満の分子メカニズム

座長 羽鳥 恵 慶應義塾大学医学部眼科時間生物学教室 特任准教授

代謝に影響を与えるものとして睡眠の質と量とタイミングに関する研究が進んできました。食べる時間によって、サーカディアンリズムを介して代謝の変化が起こり、太りやすくなるなど、肥満の分子メカニズムが解明されてきました。また、運動に関わる遺伝子に働きかけ、代謝や、長寿遺伝子を制御するアディポネクチン受容体を活性化する新規化合物(アディポロン)も昨年に発見されました。肥満や代謝に関わる分子メカニズムの目からウロコのディスカッションにご期待ください。

1 10:55-11:20

睡眠・覚醒状態の制御機構

櫻井 武

金沢大学医薬保健研究域医学系
分子神経科学・統合生理学講座 教授

プロフィール

筑波大学医学専門学群卒業、同大学院医学研究科修了。筑波大学基礎医学研究系講師、准教授、テキサス大学研究員、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授などを経て、金沢大学医薬保健学総合研究科教授に就任。現在に至る。

著書

『食欲の科学』(ブルーバックス)

『＜眠り＞をめぐるミステリー

ー睡眠の不思議から脳を読み解くー』(NHK出版新書)

『睡眠の科学ーなぜ眠るのかなぜ目覚めるのかー』(ブルーバックス)



3 11:45-12:10

健康長寿を目指した新規糖尿病治療薬開発の試み

岩部 美紀

東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科
統合的分子代謝疾患科学講座 特任助教



プロフィール

2004年香川医科大学大学院医学系研究科博士課程修了後、(独法)国立健康・栄養研究所特別研究員。2005年に(財)ヒューマンサイエンス振興財団リサーチレジデント、その後、(独法)日本学術振興会特別研究員(PD)、東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任研究員を経て、2011年に東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科22世紀医療センター分子創薬・代謝制御科学講座特任助教に就任。2014年に同センター統合的分子代謝疾患科学講座特任助教となり現在に至る。

2 11:20-11:45



食べるタイミングと時計遺伝子

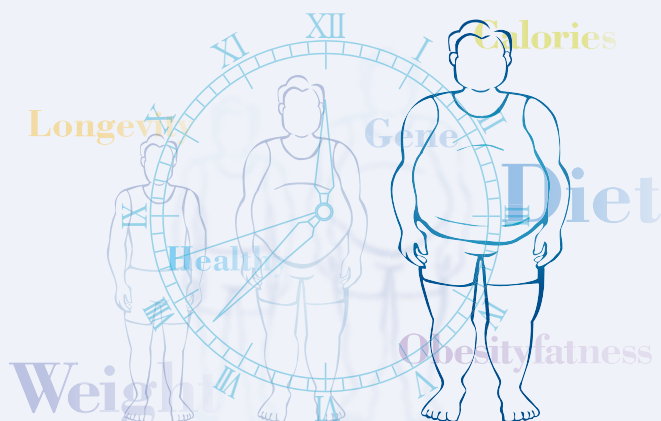
羽鳥 恵

慶應義塾大学医学部眼科時間生物学教室
特任准教授

プロフィール

2002年東京大学理学部生物化学科を卒業。2007年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程を修了後、同年、米国Salk Institute for Biological StudiesにてResearch Associateを経て2013年より同Senior Research Associateに。2014年4月、慶應義塾大学医学部眼科時間生物学教室特任准教授に就任。現在に至る。

2004年度に日本学術振興会特別研究員(DC1)、2009年度に日本学術振興会海外特別研究員として活躍。2012年度には日本時間生物学会奨励賞受賞。



12:10-12:35 Break Time 企業紹介

ご出展企業様より、産業界の最新情報について数分程度ご発表いただきます。休憩時間などに展示ブースにお立ちよりいただき、詳細をお伺いください。

12:35-13:15 ランチョンセミナー

13:15-13:35 アンチエイジングディスカッション



特別講演

13:35-14:35 「他人の不幸は蜜の味」の脳内過程 —ポジティブサイコロジー—



高橋 英彦 京都大学大学院医学研究科精神医学教室 准教授

プロフィール

1997年東京医科歯科大学医学部を卒業、2005年東京医科歯科大学博士(医学)を取得。2006年、放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター主任研究員、2008年科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業さがけ研究員。2011年、京都大学大学院医学研究科准教授に就任し、精神医学教室を担当。現在に至る。2012年12月、日本学術振興会賞受賞。



著書

『なぜ他人の不幸は蜜の味なのか』
(幻冬舎ルネッサンス)

座長 坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

幸せな人が長生きする、という論文が2012年に発表され、医学界からもポジティブサイコロジーに大きな注目が集まっています。脳の画像解析の発達とともに感情の脳内メカニズムが明らかになり、感情を脳科学的に明らかにすることが可能になってきました。この講演では、人の妬みなどの感情がどうしておきるのか、また、自分が他人より優れているという優越性の錯覚が発生するメカニズムについてお話いただきます。

セッション4

14:35-15:40 高タンパク摂取の是非に迫る

座長 坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授

糖質制限が痩せるダイエットとして注目される中、糖質や炭水化物を抑える食事をする事で引き起こされる高タンパク質摂取の是非に注目が集まっています。今回のバトル講演では、タンパク質の積極的な摂取の是非について討議して頂きます！

1 14:35-15:00



是の立場

高タンパク摂取賛成

溝口 徹

新宿溝口クリニック 院長

プロフィール

1990年福島県立医科大学卒業。

横浜市立大学医学部付属病院、国立循環器病センター勤務を経て、神奈川県藤沢市に溝口クリニック(現：辻堂クリニック)を開業。痛みを専門に扱うペインクリニックを中心に、広く内科系疾患の診療にも従事。2000年から一般診療に分子栄養学的アプローチを応用し始め、治療が困難な疾患にたいする栄養療法を実践し多くの改善症例を持つ。2003年、日本初の栄養療法専門クリニック『新宿溝口クリニック』を開業。毎日の診療とともに、患者や医師むけの講演活動を行っている。

著書

『脳から「うつ」が消える低糖質レシピ』(青春出版社)
『アレルギーは「砂糖」をやめればよくなる!』(青春出版社)
『子どもの「困った」は食事でよくなる』(青春出版社)



2 15:00-15:25



非の立場

危険な糖質制限:
エビデンスレベルの
高い地中海食

岡本 卓

愛し野内科クリニック 院長

プロフィール

1985年に東京大学医学部卒業後、東京大学内科に入局。東京大学医学部附属病院内科、自治医科大学内科、順天堂大学呼吸器内科を経て、1991年東京大学医学部文部科学教官助手、1992年ハーバード大学医学部博士研究員、1995年同講師、1997年クリーブランドクリニック財団ラーナー研究所助教授兼オハイオ州立大学助教授。1999年に理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー就任。2001年から北海道北見市端野町の医療法人ケイアイ オホーツク海病院勤務。同年東京大学博士(医学)の学位を取得。2004年医療法人ケイアイ オホーツク海病院院長就任後、2009年に愛し野内科クリニックを開院し、院長に就任。現在に至る。

著書

『アルツハイマー病とは何か』(角川SSC新書)
『本当は怖い「糖質制限」』(祥伝社新書319)
『薬が減らせて、血糖値にもしづられない
糖尿病最新療法2』(角川SSC新書)



15:25-15:40 ディスカッション

15:40-15:55 Break Time

セッション5

15:55-17:10 腸内細菌

座長 伊藤 裕 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 教授

私たちの身体には、自分たちの細胞の数の10倍以上にあたる約600兆個の細菌が存在しており、その多くは大腸内に棲んでいます。健康維持のためには、この腸内細菌の働きが重要であることが分かり、そのメカニズムが注目されています。また、便の移植などの臨床応用も急速に進んでいます。このセッションでは腸内細菌の基礎から臨床応用への可能性まで、最先端のトピックを討議します。

座長紹介



伊藤 裕 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科 教授

プロフィール

1983年京都大学医学部卒業、1989年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。米国ハーバード大学医学部 Brigham and Women's Hospital Molecular and Cellular Research Laboratory 博士研究員、米国スタンフォード大学医学部循環器内科 Falk Cardiovascular Research Center 博士研究員を経て、2000年京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学 第二内科病棟医長、京都大学大学院医学研究科臨床病態医科学講座 講師、同講座助教授。2006年、慶應義塾大学医学部内科学講座教授着任、2009年慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター副センター長就任。現在に至る。

著書

『臓器の時間』(祥伝社新書) 『健康は「内臓さん」で決まる』(サンマーク出版)
『からだにありがとう』(PHPサイエンス・ワールド新書) 『腸!いい話』(朝日新書)
『メタボリックミミに挑む! 俺流処方』(南山堂)



1 15:55-16:20



統合オミクスによる腸内エコシステムの理解

福田 真嗣

慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授

プロフィール

2006年明治大学大学院農学研究科博士課程修了。博士(農学)。(独)日本学術振興会特別研究員、(独)理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター基礎科学特別研究員などを経て、2012年より慶應義塾大学先端生命科学研究所特任准教授に着任。2011年に善玉菌による病原菌感染予防の分子機構を世界に先駆けて明らかにし、Nature誌に報告。2013年には腸内細菌が産生する酪酸が制御性T細胞を誘導して大腸炎を抑制することを発見し、Nature誌に報告。2013年文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞、2014年三島海雲学術賞受賞。専門は腸内環境システム学、統合オミクス科学。

2 16:20-16:45

腸内細菌と疾患予防 ～便移植への臨床応用～

金井 隆典

慶應義塾大学医学部内科学(消化器) 教授



プロフィール

1988年に慶應義塾大学医学部を卒業後、博士課程を経て同大医学部(内科学)助手。1992年に清水市立総合病院内科医員を務め、その後医長に就任。1995年にハーバード大学Beth Israel Medical Center, Division of Viral Pathogenesis留学し、帰国後、東京医科歯科大学医学部附属病院に赴任。2004年同大講師を経て、2008年4月に慶應義塾大学医学部(内科学)准教授、東京医科歯科大学医学部臨床教授を兼任。2013年8月に慶應義塾大学医学部内科学(消化器)教授に着任。現在に至る。

3 16:45-17:10



腸内細菌と免疫

本田 賢也

理化学研究所統合生命医科学研究センター
消化管恒常性研究チーム チームリーダー

プロフィール

1994年神戸大学医学部卒業。2001年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。同年東京大学大学院医学系研究科助手、2007年大阪大学大学院医学系研究科准教授、2009年東京大学大学院医学系研究科准教授を経て、2013年理化学研究所統合生命医科学研究センターチームリーダーに着任。現在に至る。研究テーマは、腸内細菌と消化管免疫系。

17:10-17:40 Q&A

17:40-17:45 閉会の言葉

セミナー開催のお知らせ

第8回見た目のアンチエイジング研究会

日程: 2014年9月28日(日)
会場: 東京コンファレンスセンター品川

第10回キレーション治療セミナー

日程: 2014年12月6日(土)、7日(日)
会場: TKP品川カンファレンス カンファレンスルーム5A

第6回泌尿器抗加齢医学研究会

日程: 2015年2月1日(日)
会場: 大阪市内

第15回日本抗加齢医学会総会

会期: 2015年5月29日(金)～31日(日)
会場: 福岡国際会議場

第14回 抗加齢医学の実際2014

アクセス

時事通信ホール

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目15-8 時事通信ビル

電車でお越しの方

東京メトロ日比谷線・都営浅草線 東銀座駅(6番出口) [徒歩1分]

都営大江戸線 築地市場駅(A3出口) [徒歩4分]

東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線 銀座駅 [徒歩7分]

JR有楽町駅から [徒歩12分]

車でお越しの方

首都高速都心環状線 銀座インター降車1分

新宿インター降車5分

周辺駐車場検索はこちら → <http://www.s-park.jp>

お申し込み方法

以下の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。メールでお申し込みの場合は、件名を「抗加齢医学の実際2014」として、必要事項を jissai@mediproduce.jp までお送りください。お振り込みをもちましてお申し込み完了となります。

【申込締切】9月1日(月)

定員に達し次第締切らせていただきます。予めご了承ください。

【お振込先】三井住友銀行 青山支店 普 6965817

口座名義:抗加齢医学の実際(振込手数料はご負担ください)

【振込締切】9月8日(月)

※当日申込の場合は、受講料は当日ご持参ください。定員制のため、事前申込をお薦めします。

※受講料は配布資料・Welcome Reception(1日目)・ランチ代(2日目)を含みます。宿泊費は含まれません。



同日開催の第8回抗加齢医学研究会講習会へ参加される皆様へ

日本抗加齢医学会の規則により、1日の最大取得単位は5単位となるため、9月14日(日)の合計取得単位は5単位(受験・更新用)となります。その為両セミナーに参加される方は、2日間で合計8単位(受験・更新用)となります。

参加申込書

※ご記入は、お一人様につき1枚でご使用ください。(コピー可)

事前申込締切 9月1日(月)

FAX **03-5775-2076**

申込種別 該当する項目に チェックしてください	日本抗加齢医学会 会員	☐ 事前申込(35,000円)	☐ 当日申込(40,000円)
	一般 (日本抗加齢医学会 非会員)	☐ 事前申込(40,000円)	☐ 当日申込(40,000円)
(フリガナ) お名前			日本抗加齢 医学会ID (会員のみ)
勤務先・部署			
ご専門			
ご連絡先 該当する項目に チェックしてください ☐ 勤務先 ☐ ご自宅	住所 〒	都 道 府 県	
	TEL ()	FAX ()	
	E-mail		
本セミナー 出展企業への 情報譲渡同意	※本セミナーでは、毎年10社程度の企業によるブース出展があります。 各社からのご案内をご希望の場合、チェックをお願いいたします。 ☐ 希望する ☐ 希望しない		備考

■キャンセルに関して

定員制となりますので、ご入金後のキャンセルはできません。予めご了承ください。代理出席は可能ですのでご連絡ください。上記個人情報につきましては、(株)メディプロデュースにて管理し、無断で第三者へ譲渡することは一切ございません。

株式会社 メディプロデュース

お問合わせ

〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-40-513 TEL. 03-5775-2075 FAX. 03-5775-2076

E-mail jissai@mediproduce.jp URL <http://www.mediproduce.jp>